

ワークショップ(第8回)概要

○日時 2024年2月29日(木) 14時00分から17時00分

○場所 大阪府咲洲庁舎 会議室

○議題 ・カムダウン・クールダウンルームの仕様(第7回個別ワークショップの結果報告)

・トイレの案内・誘導(原寸大図面を用いた検証)

・トイレの名称

○出席者

エキスパート	石塚裕子			
お困りごと当事者 18人	車いす使用者	3人	発達障がい者(親と参加)	0人
	視覚障がい者	4人	発達障がい者の親	1人
	聴覚障がい者	2人	LGBTQ+	2人
	精神障がい者	1人	医療的ケア児(親と参加)	2人
	知的障がい者(親と参加)	1人	子育て世帯	1人
	知的障がい者の親	1人		
作り手企業	株式会社シブタニ、TOTO 株式会社			
業務受託者	株式会社東畑建築事務所 株式会社乃村工藝社・三菱UFJリサーチ&コンサルティング共同企業体			
傍聴	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 大阪府都市整備部住宅建築局建築環境課			

○配慮事項

資料のワードテキスト文書(事前送付)、駅から会場までの言葉の地図、手話通訳、UDトーク、立体コピー

○議事要旨

●カムダウン・クールダウンルームの仕様(第7回個別ワークショップの結果報告)

2023年11月30日(第7回)のカムダウン・クールダウンルームの仕様選定のワークショップの内容と検討結果について事務局より報告した。

●トイレの案内・誘導(原寸大図面を用いた検証)

検証の前に、3つの班に分かれ、「ピクトや配置図といった案内サイン」について、機能分散されたトイレブースの配置や空き状況はどんな案内やサインがあればわかりやすいか、利用したいトイレブースにスムーズにたどり着くにはどうすれば良いかを議論し、概要を発表した。

次に、トイレレイアウトの原寸大図面を床に広げ、実際に並んで検証を行った。検証では、トイレブースにある程度空きがある状態とすべて使用中で空きの無い状態を確認した。班ごとに議論し、実際に並んで検証したことで、案内サインだけではなく、当事者のお困りごとを知ってもらうことや、みんなトイレのコンセプトをしっかりと伝えることが大切だという気づきがあった。この気づきから、トイレ入口へのコンセプトボード設置につながった。あわせて、通路幅やベビーケアルームの入口の位置が課題として見つかったため、変更を検討することとした。

●トイレの名称

事前に当事者や作り手企業からメールで寄せられた25個の名称案をもとに、各班で意見交換した。最終的に絞り込んだ名称「みんなトイレ」「あなたのトイレ」「考えるトイレ」の3案をベースに、事務局が調整し決定することとなった。

大阪ヘルスケアパビリオン

UD推進チーム ワークシヨップ

～みんなトイレ(仮称)の使われ方検討～

令和6年(2024年)2月29日
14時から17時

大阪府咲洲庁舎44階大会議室

日時： 2024年2月29日（木）14時から17時

場所： 大阪府咲洲庁舎 44階大会議室

内容

1. カームダウン・クールダウンルームの仕様（個別WSの内容報告） 10分 14:05~14:15

5分
はじめに

2. 「みんなトイレ（仮称）」の案内・誘導

(1) トイレのねらい、レイアウト、各ブースの機能の再確認 10分 14:15~14:25

(2) 班ごとに「ピクトや配置図といった案内サインのこと」をディスカッション

○機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか 30分 14:25~14:55

○利用したいトイレにスムーズにたどり着けるか など 30分 14:55~15:25

(3) 各班からディスカッションの概要を発表 5分×3 15:35~15:50

10分休憩

(4) 実物大トイレ床レイアウト表示を用いて、みんなで検証 40分 15:50~16:30

3. 「みんなトイレ（仮称）」の名称 20分 16:30~16:50

10分
おわりに

計 180分

会議室レイアウト

大阪府咲洲庁舎 44階 大会議室

- ※車いすトイレは41階
- ※オストメイト設備は1階



順不同・敬称略

■ワークショップ班

	ファシリテーター	リーダー						
A班	エキスパート	車いす使用者	車いす使用者	視覚障がい者	視覚障がい者	知的障がい者の親	医療的ケア児・親	LGBTQ+
B班	事務局	車いす使用者	視覚障がい者	聴覚障がい者	発達障がい者の親	知的障がい者・親	子育て支援	
C班	事務局	車いす使用者	視覚障がい者	聴覚障がい者	精神障がい者	医療的ケア児・親	LGBTQ+	

書記：事務局1名

書記：事務局2名

書記：事務局1名

■作り手企業

- TOTO株式会社 1名
- 株式会社シブタニ 1名

■パビリオン関係者

- エキスパート
- 公益社団法人大阪パビリオン（事務局） 展示3名 建築5名 広報2名
- 東畑建築事務所 2名
- 乃村工芸社 1名
- AVI 2名
- （実寸平面プロット床シートの準備 竹中工務店）

1. カームダウン・クールダウン の仕様（個別WSの内容報告）

- ・日時：令和5年(2023年)11月30日(木)14:00～
- ・場所：東畑建築事務所 会議室
- ・参加メンバー：石塚先生

当事者のみなさん 6名(1名はオンライン参加)

大阪パビリオン関係者(公社)大阪パビリオン、東畑建築事務所、博覧会協会

・ワークショップの様子

部屋の原寸大を床に描いて、扉位置や部屋の大きさを確認しました。

床・壁材やスイッチのサンプルを見ながら、設備の位置や仕上げの色などをみんなで検討しました。

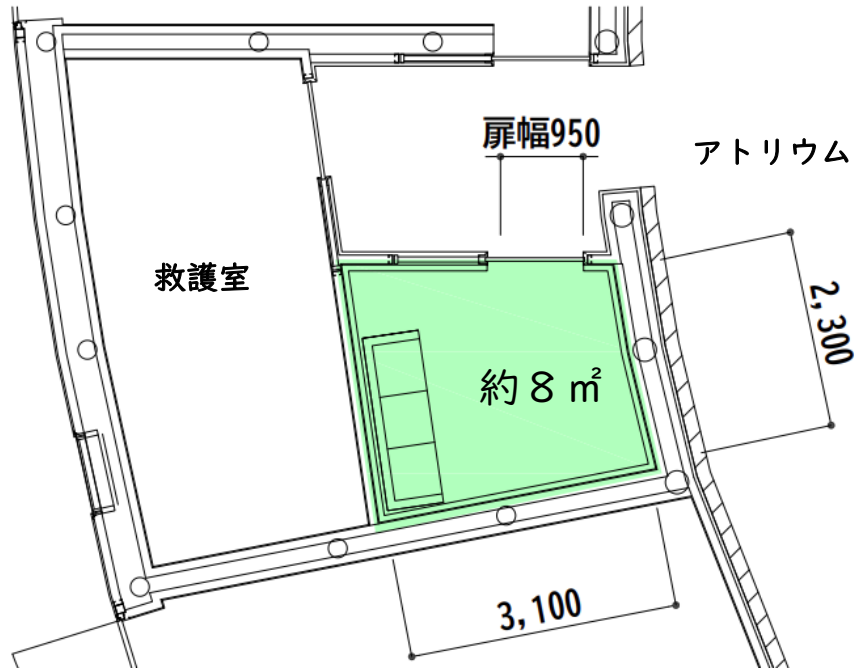
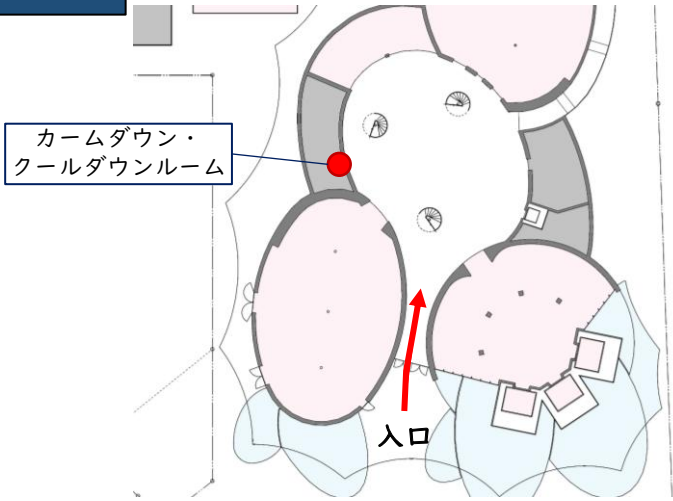


気になる部分など意見交換している様子

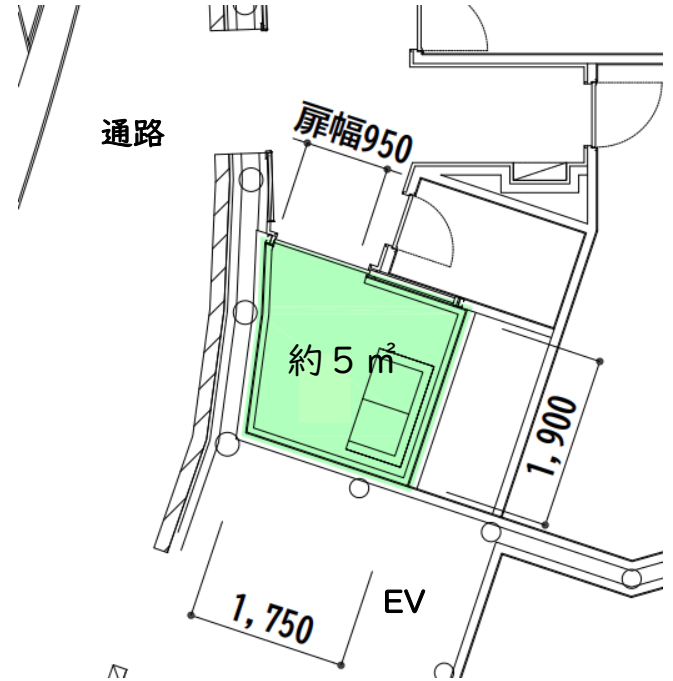
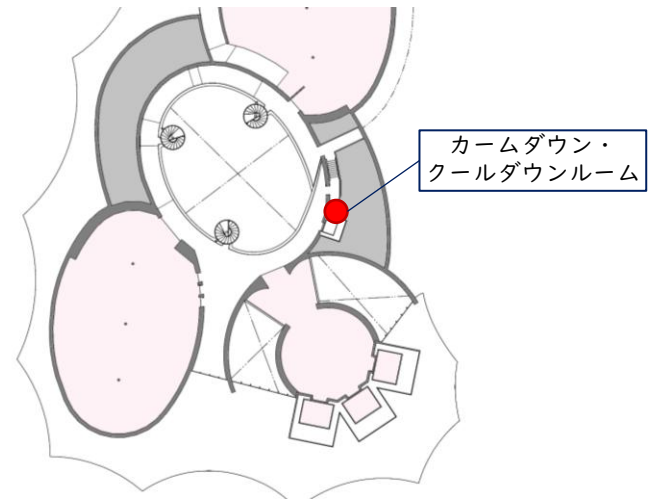


扉の位置や大きさを実物大レイアウトで確認している様子

1階



2階



仕様の確認

- ・ 部屋の位置や大きさ
- ・ 扉の形状
- ・ 呼び出しボタン、照明の仕様、空調（壁かけタイプ）

仕様の選定

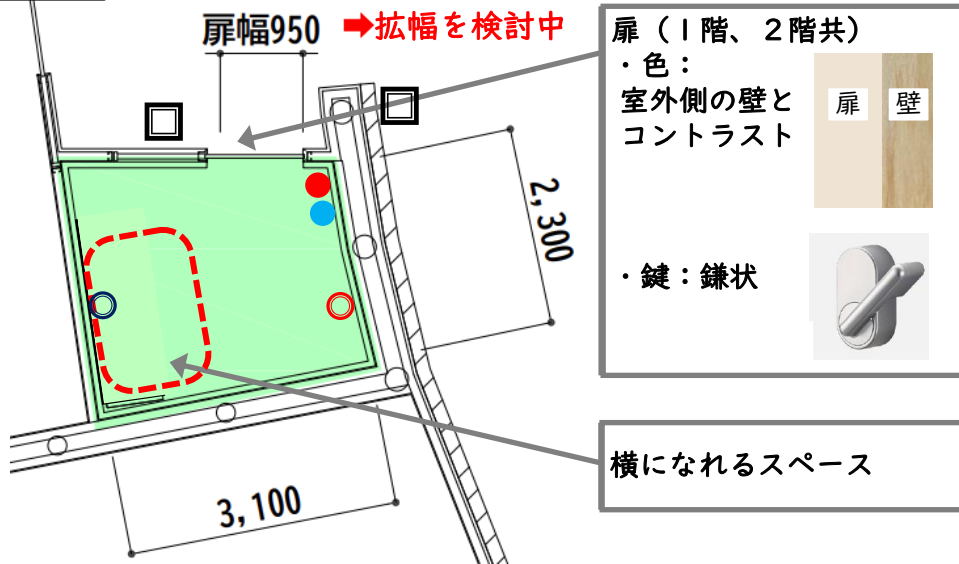
サンプルを並べ、内装などの色やスイッチなどの位置を選定

- ・ 内装材（床、壁、天井）の色
- ・ 扉の有無（2階のみ）、鍵、色
- ・ 照明スイッチ、呼び出しボタン、空調リモコンの位置
- ・ 家具、その他備品

※家具の選定や利用方法などは、WSの意見を踏まえて運営チームで検討

カームダウン・クールダウン 決定した内容

1階

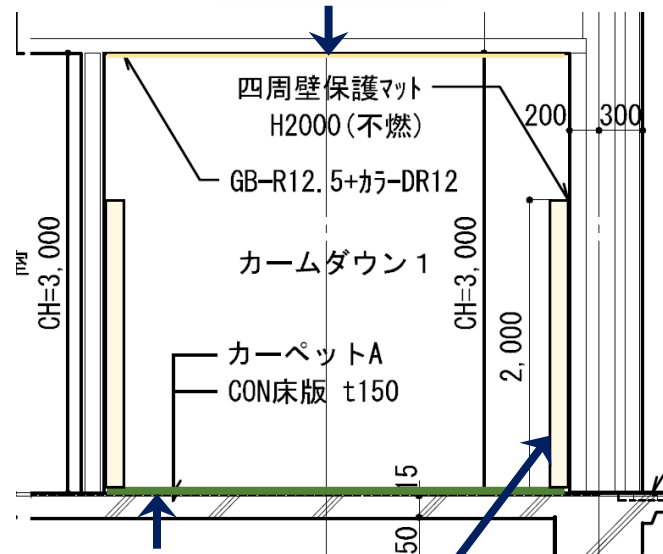


2階



内装

天井：岩綿吸音板
(1階は天井裏遮音対応)



壁：高さ2mまで保護マット
2mより上は同系色の塗装
(1階は遮音対応)



※1階には横になれるスペースを
設置予定 (下写真は参考)



2. 「みんなトイレ（仮称）」の案内・誘導

- (1) トイレのねらい、レイアウト、各ブースの機能の再確認
- (2) 班ごとに「ピクトや配置図といった案内サインのこと」をディスカッション
- (3) 各班からディスカッションの概要を発表
- (4) 実物大トイレ床レイアウト表示を用いて、みんなで検証

(1) トイレのねらい、レイアウト、
各ブースの機能の再確認

みんなでトイレプラン作成チャレンジ (2022年8月29日 TOTOにて)
以下のテーマとコンセプトに沿って、メンバーが3班に分かれ、
トイレプランを福笑い方式で作成し、発表

○トイレのテーマ

誰もが使いやすい、ミライのトイレ

○トイレのコンセプト

トイレの既成概念を変える、チャレンジングで心に響くトイレ

みんなが自然に使える、壁・境界やバリアのないトイレ

人の気持ちに寄り添った案内と設備を設けたストレスフリーなトイレ



プランの概要

- ・介護、介助、性的少数者などのことを配慮したオールジェンダートイレ
- ・全部個室で小便器なし（視覚障がい者もどこに入ってもOKとなる）

大便器	5
簡易型	6
小便器	0
洗面	8
車いす	2
キッズ	1
授乳	2

課題
 ・全部個室で、小便器なし。個室の清潔さを保つことが課題

視覚障がい者のニーズ
 ・トイレの空きは探すしかない
 ・蝕知図は動線など線種が多くわかりにくい
 ・あまり触ることはない
 ・反時計回りで壁沿いにトイレ、手洗いと順番にあったらわかりやすい

案内・コンシェルジュ
 ・外国語ができたり福祉系の資格を持つコンシェルジュを配置し、順番待ち列を捌いてもらえるなどしてもらえたらスムーズ
 ・音声案内も必要。反響してわかりにくいこともあり要検証

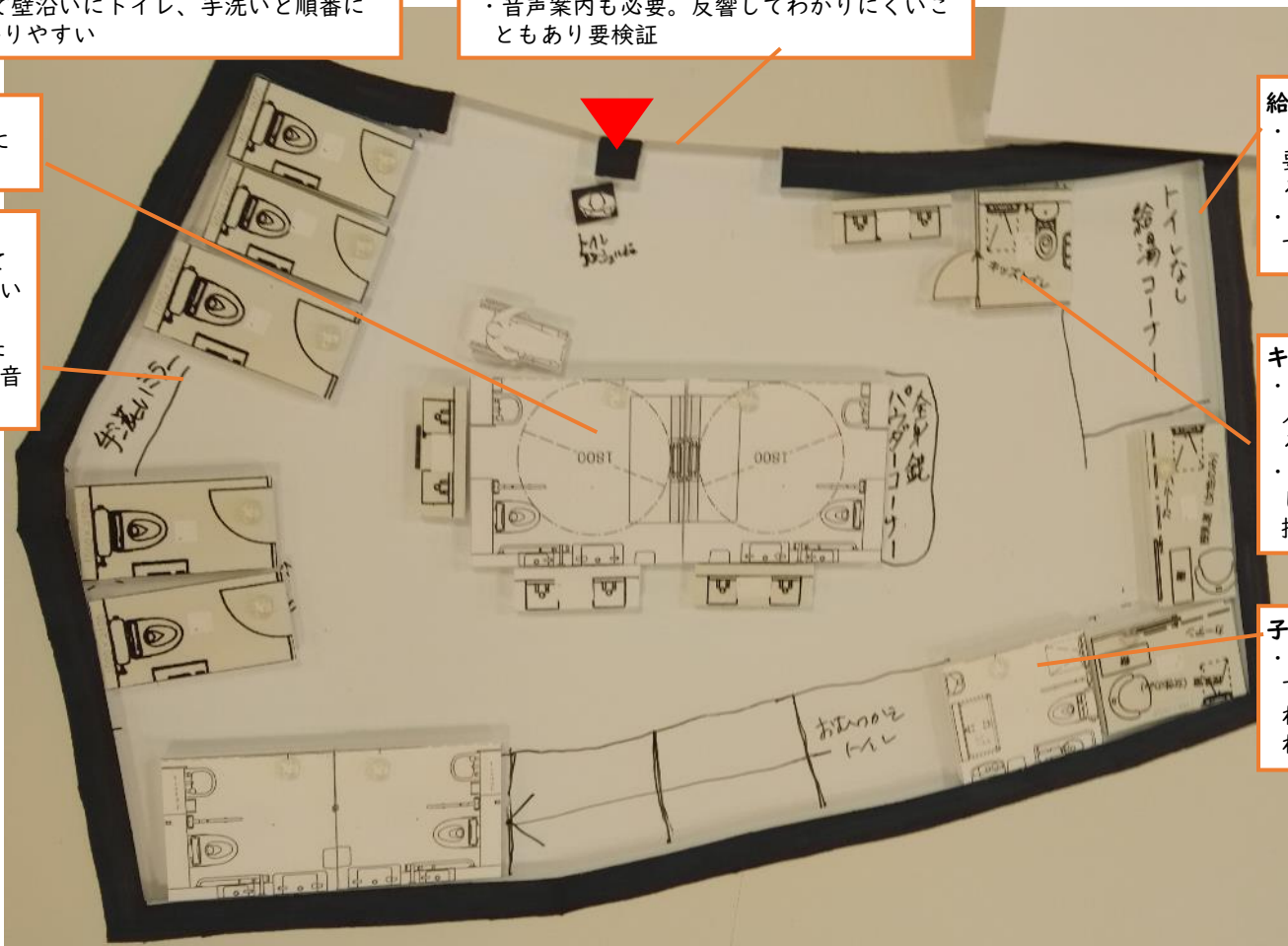
車いすトイレの位置
 ・車いすトイレは入口に近い方がいい

便房
 ・視覚障がい者にとっては、便房は狭い方が使いやすい
 ・個室間の壁は防犯のため床から天井まで。防音対策にもなる

給湯室の機能
 ・医療的ケアで洗浄等が必要なので給湯室の機能があるとありがたい
 ・哺乳瓶などを洗ったりもできる

キッズトイレ・授乳室
 ・キッズトイレや授乳室も入口に近い方がいい。動ける人が奥へ
 ・授乳室とおむつ替えは同じタイミングになるので近接させる

子供連れ対応
 ・大きめトイレを多く配置すると、子どもも一緒に入れるし、ベビーカーごと入れる



プラン概要

- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。手洗いとキッズ関係は中央に配置。
- ・小便器は効率化のため設置。女性や宗教的な問題でオールジェンダーに抵抗がある人もいる。

案内（空き情報）

◎アプリ等で事前に空き情報がわかる様にする

キッズトイレ

- ・キッズトイレは共用区画で入口近くに設置。
- （出入口の向きを車椅子使用者の通路と重ならないように気を付ける）

おむつ交換、ミルク対応

- ・オムツ交換、ミルク作りのスペースは真ん中に設置し男女関係なく使用出来るようにする

男性用的小便器

- ・男性用小便器は効率化のためにも必要
- ・通路から見えない配慮が必要。

男性スペース

- ・健常男性のスペースを小さくし他の空間を充実させる

授乳室

- ・授乳室は女性のみ使用するため女性区画の中に設置

大型便房

- ・1800mmの円が内接出来る大型の多目的トイレを配置

男女共用トイレの便房

- ・簡易型も含め、便房数を多くとる
- ・通常個室も配置し、誰でも入れるトイレを多くとる

通路幅

- ・多目的空間の通路は車椅子同士のすれ違いが可能なように1800mm必要

女性スペース

- ・女性区画は混雑が予想されるので個室を多く確保する

●男女共用	
車いす	2
ブース	2
簡易型	2
キッズ	1
洗面	8
●男性	
ブース	2
小便器	4
●女性	
ブース	6
授乳	1

プラン概要

- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。入口近くに男女共用、奥に男女別を配置。
- ・オールジェンダーはまだ抵抗がある人が多いので、男女別も残した方が。

●男女共用	
車いす	2
簡易型	2
ブース	2
●男性	
ブース	5
小便器	4
洗面	4
●女性	
ブース	8
授乳	1
洗面	6

案内

- ・外側にピクトサイン
- ・案内してくれる人（ガイド）

ベンチ

- ・空きスペースにベンチほしい（視覚障がい者は内部は危ないので外に）

入口

- ・多様な人が使用しやすいように、入口はみんな同じ
- ・奥に行くほどグラデーションっぽく徐々に男女がわかれるイメージ
- ・ただし、視覚障がい者は入口からわかれている方がわかりやすいここに要配慮

みんなトイレ

- ・共用部分に広めの一般便房必要
→LGBTQ、異性介助、見た目障がいかわからない方への配慮
- ・LGBTQの方への配慮として共用部には手洗いはない方がいい。
- ・車いす便房は左右対称が必要

おむつ交換

- ・おむつ替え台は男女とも必要なので共用部分へ
- ・匂い、見える等を避けるため壁等で仕切る

キッズトイレ

- ・必要だけど1人で入らないので大型便房に入れては？（大人と子ども一緒=大人(大)+子(大)+子ども(小))
- ・機能分散も必要。

- ・男女間に壁設置

男性小便器

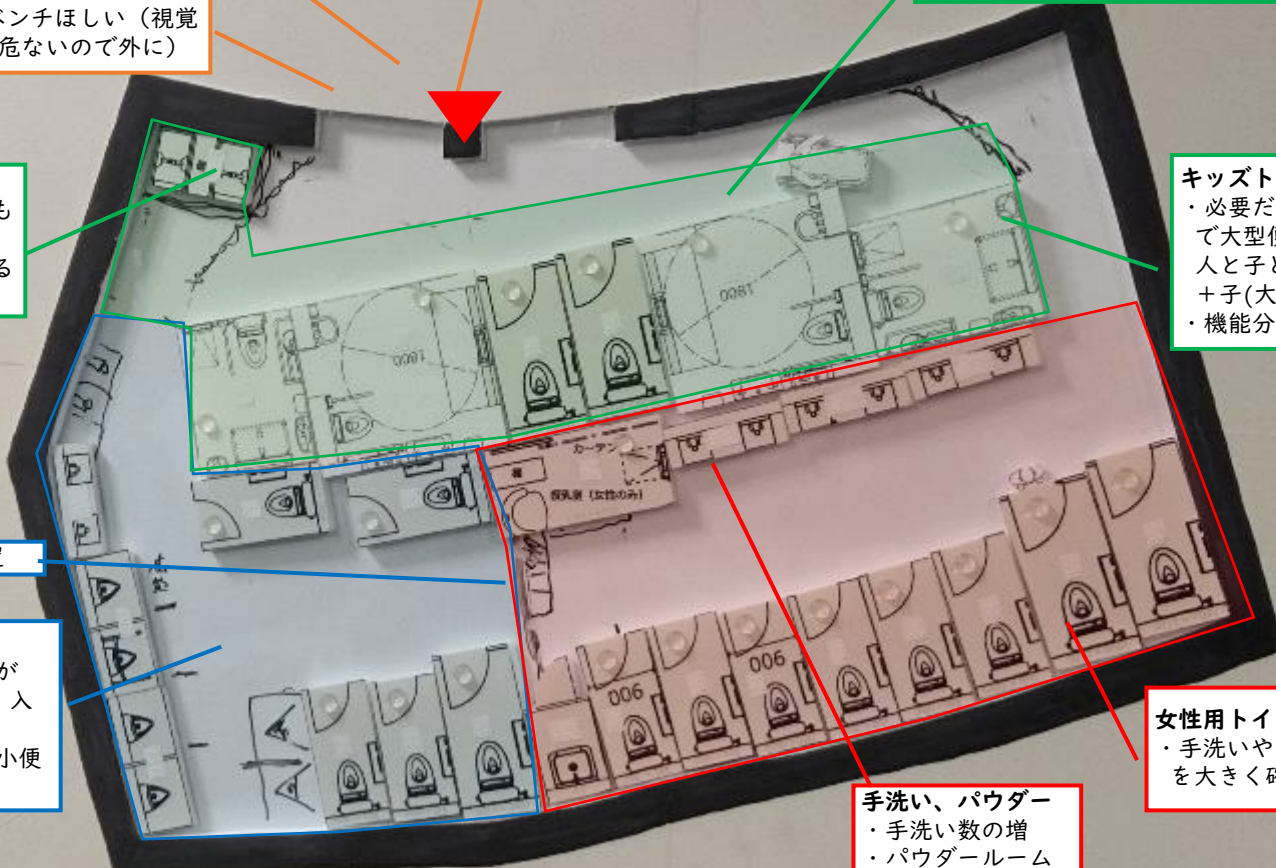
- ・小便器は必要（使用時間が短く混雑緩和につながる、入口に近い方がいい）
- ・プライバシーの観点から小便器の間に間仕切り

女性用トイレ

- ・手洗いやスペースを大きく確保

手洗い、パウダー

- ・手洗い数の増
- ・パウダールーム



大阪ヘルスケアパビリオンのトイレの方向性

■みんなで作成したプランから浮かび上がるコト

- ・少数派も使いやすいように、ジェンダーフリーや機能分散の視点は欠かせない
- ・多数派である健常者に対して、これまでの生活経験から、男女別トイレや男性小便器の確保が必要との意識を持っている人が多い
- ・快適に利用するためには、要配慮者対応も含め多様なニーズがある

大阪ヘルスケアパビリンのトイレの方向性

ノーマライゼーションを実現するトイレの提案

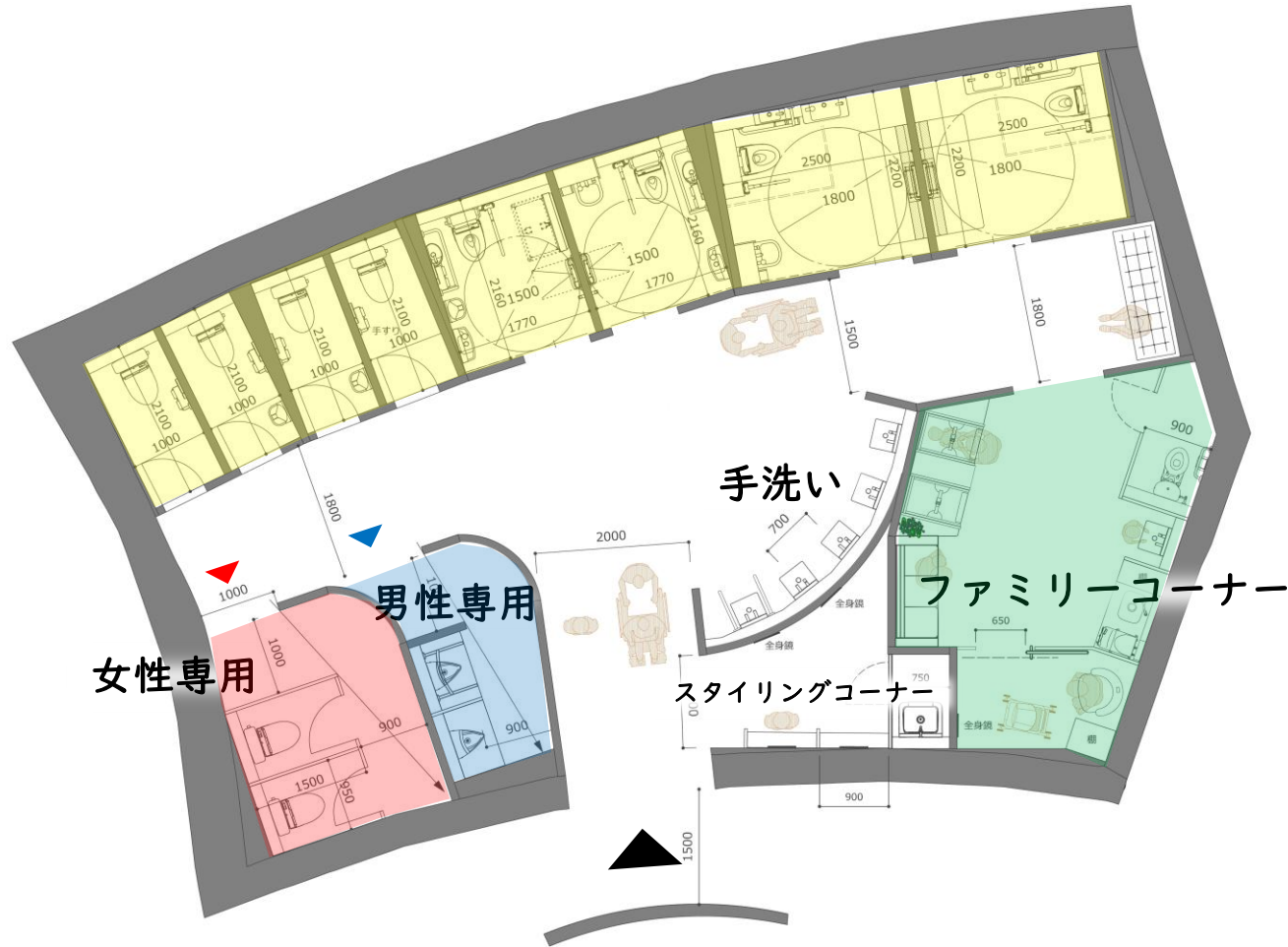
～マジョリティ（多数派）とマイノリティ（少数派）の意識を無くす～

快適で使いやすい機能*¹を盛り込みつつ、
要配慮者*²はもちろん、健常者も含めすべての人が使いやすいトイレをめざす

*¹ お困りごと対応（車いす対応、手摺り、オストメイト、ベビーケア、着替え、男女別など）、不安解消（防犯対策など）、わかりやすさ（シンプルな動線、音声案内、アプリ、触知図など）

*² 介護や介助が必要な方、車いす利用者、高齢者、視覚・聴覚障がいのある方、知的、精神障がいのある方性的少数者、子ども連れ、外国人

誰もが分け隔てなく使えて、使いやすい「みんなトイレ」とし、
どうしても男女別トイレでない人と抵抗が大きい人のための男女各専用スペースや、
多様なニーズに対応するためのファミリーコーナーやスタイリングコーナーなどを追加



従来の男女別トイレもあえて設けることで、
トイレに対する『意識変革』のきっかけに



トイレの既成概念を変える
ミライ社会の実験場

機能分散されたブースの配置



各ブース内に設ける設備

ピクトサイン (JIS規格)



ブース	手すり		洗面	カーテン	フィッティングボード	介助用ベッド	オストメイト	ベビーチェア (乳幼児椅子)	おむつ替え ベッド
	L型	跳ね上げ							
共用トイレ	A	左○						○	
	B	左○						○	
	C	○右						○	
	D	○右						○	
	E	○右	左○	○	○	○		○	○
	F	左○	○右	○	○	○		○	
	G	左○	○右	○	○		○	○	
	H	○右	左○	○	○		○		
男性専用	小								
	小								
女性専用	1	左○							
	2	左○							
ファミリーコーナー	キッズ大								
	キッズ小								
	おむつ替えベッド								○
	おむつ替えベッド								○
	授乳室								



今回のワークショップの検討ポイント

- 機能分散しているトイレにスムーズにたどり着けるか
- 意識を変えることができるか

どんな案内があればうまくいくか
みんなで考えましょう

ピクトサイン



使用中表示



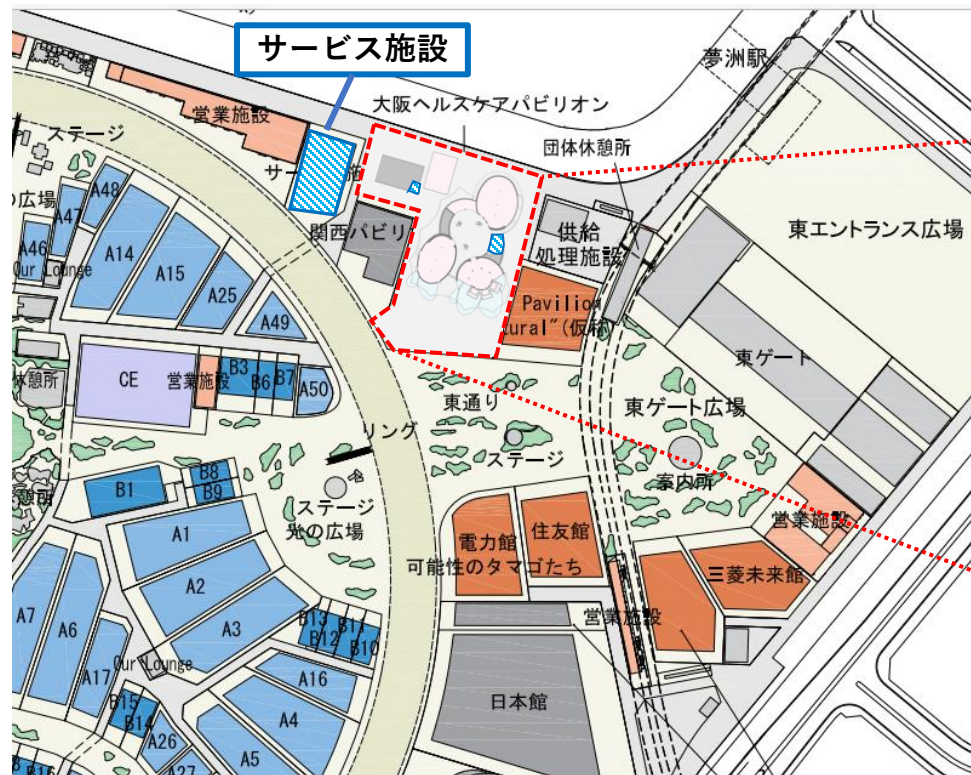
案内表示



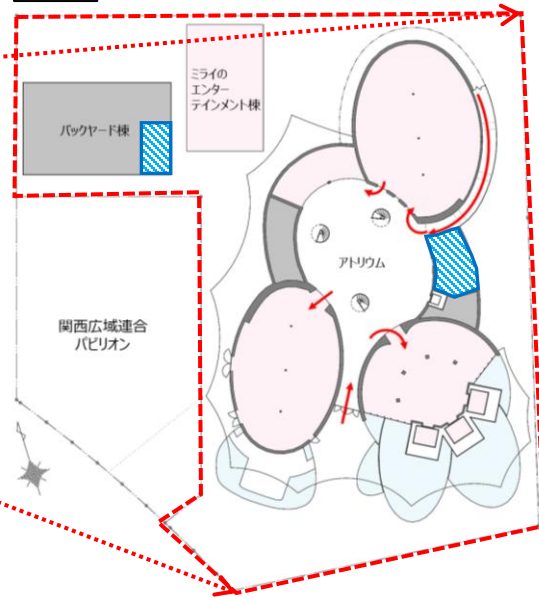
[トイレ 空表示 - 検索 画像 \(bing.com\)](#)

トイレの位置

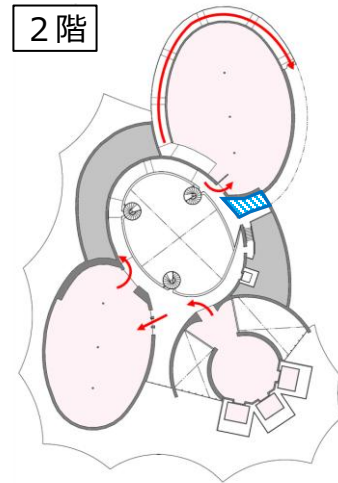
大阪ヘルスケアパビリオン内 及び 付近のトイレの位置



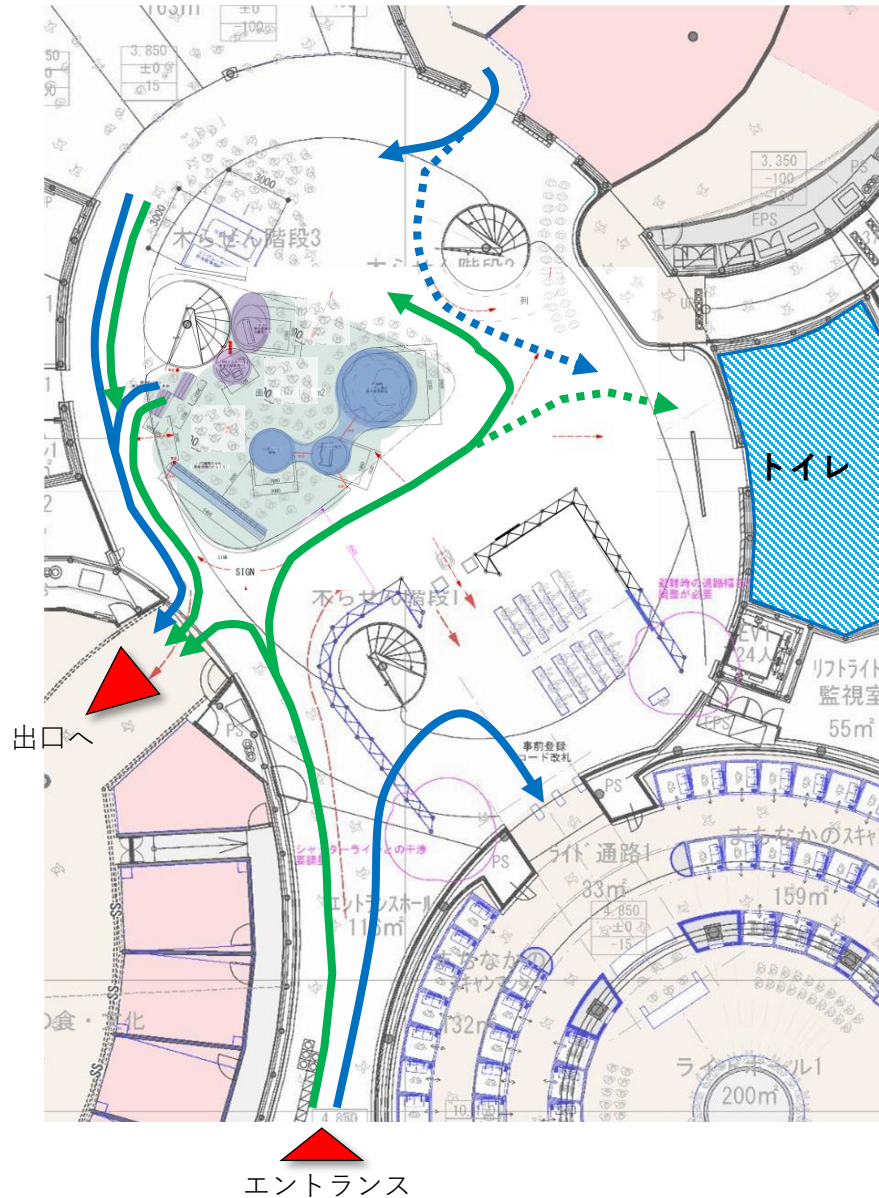
1階



2階



トイレ利用者の動線



→ REBORN体験ルート
(予約者)

→ 予約なし入館者
(入場制限あり)

→ トイレ利用者

60分 14:25~15:25

(2)班ごとに「ピクトや配置図といった案内サインのこと」をディスカッション

○機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか

30分 14:25~14:55

○利用したいトイレにスムーズにたどり着けるかなど

30分 14:55~15:25

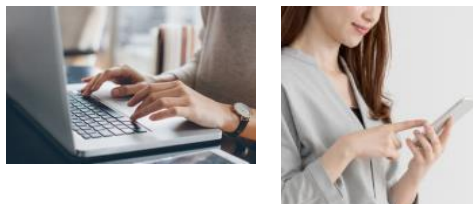
● ディスカッション その1

どこにどんな機能のトイレがあるか。。。。

どこが使用中で、どこが空いているのか。。。。

どのような案内誘導の機能があれば利用しやすい
でしょうか。

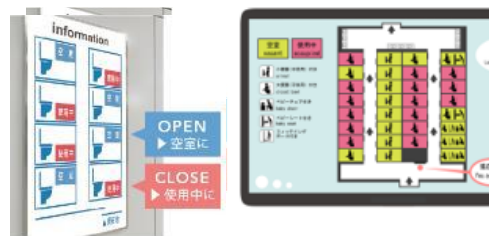
ホームページ



- ・トイレのプラン、趣旨、取組み経過その他を事前にお知らせする。

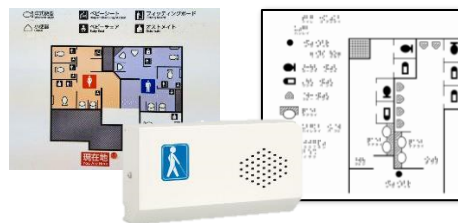
※トイレのコンセプトなどの利用者へのメッセージは、ホームページ、トイレ出入口付近に掲出します。

案内サイネージ



- ・各ブースの機能と満空状況を併せて行うことができるもの。

触知図・音声誘導



- ・視覚障がい者の方のご案内。

床サイン（足跡など）



- ・待ち列を示すもの（足跡マークなど）。

ピクト



- ・博覧会協会が「サイン整備指針」で示すものとし、万博会場内の案内との統一を図る。

使用中表示



- ・トイレに入ってから、スムーズに空きブースを見つけられる。

床サイン（矢印など）



- ・トイレ内の誘導。

自宅・パビリオン外

トイレに入る前

トイレの中

● ピクトサイン一覧[JIS規格] 青字下線は、みんなトイレでの使用名



男女共用トイレ



車いすトイレ



男性専用トイレ



女性専用トイレ



介助
JIS規格外（参考）



着替え台

フィッティングボード



介助用ベッド



オストメイト



ベビーチェア



ベビーケアルーム
(ファミリールーム)



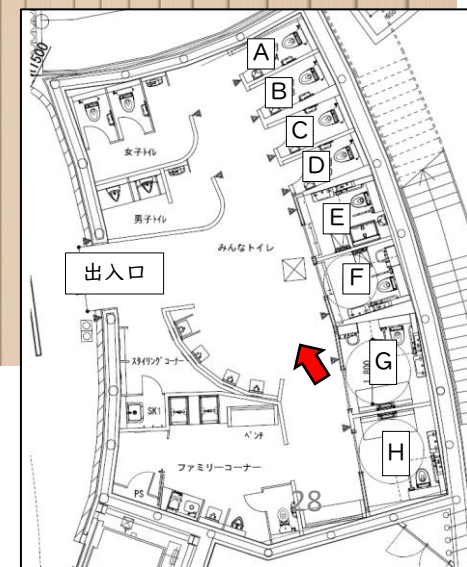
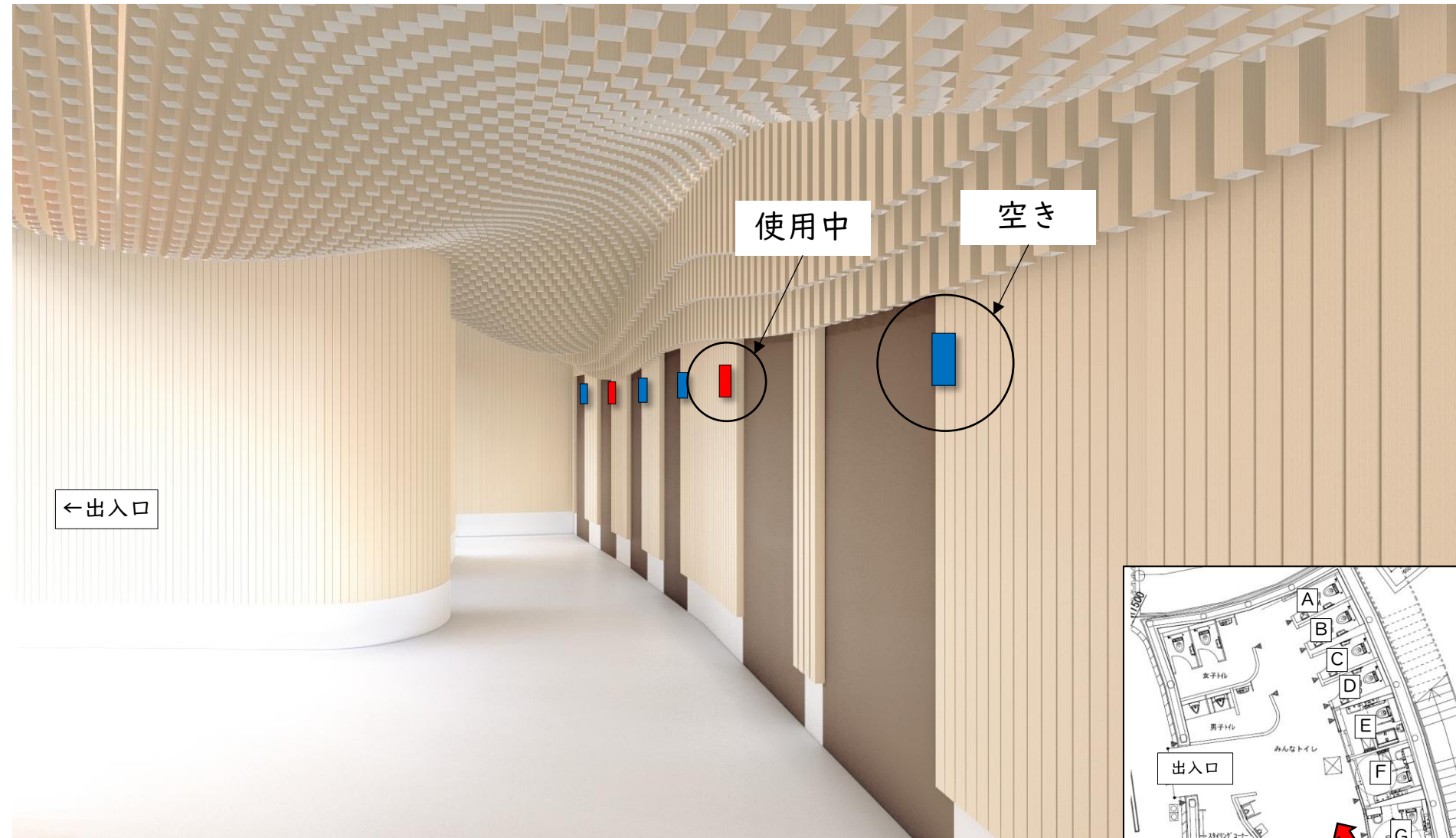
こどもトイレ
キッズトイレ



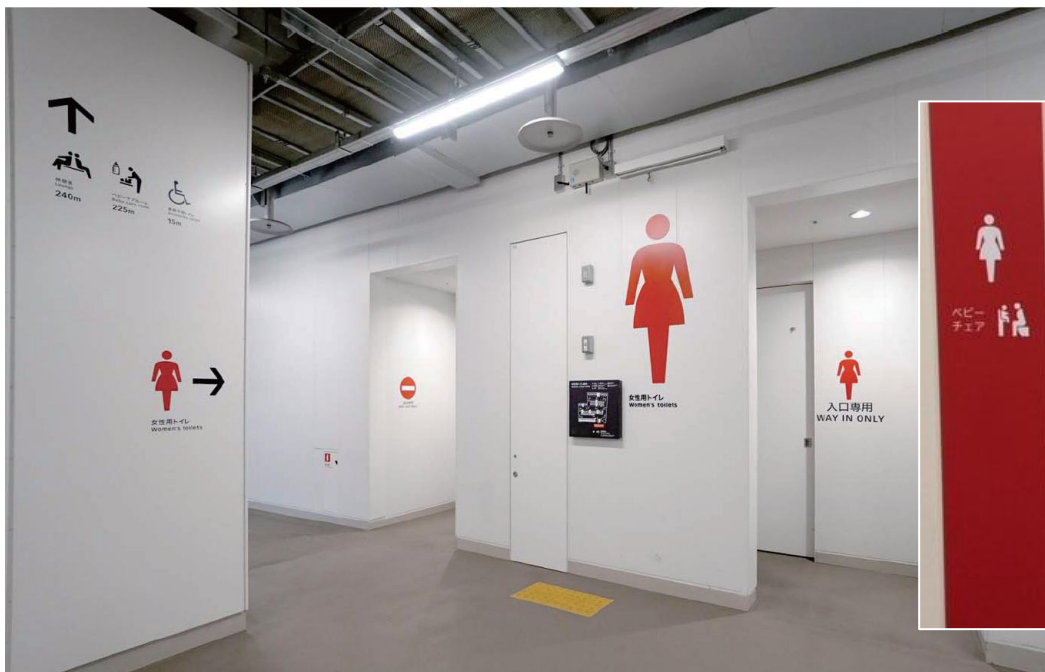
おむつ交換台
(おむつ替えベッド)



授乳室

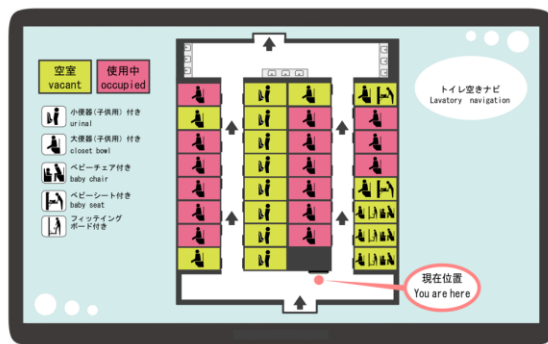


トイレブースのピクトサイン



● 案内サイネージの事例

ブースごとの機能と満空表示が一緒に表示されているもの



- ・ トイレの平面図をベースにして、各ブースの機能表示と利用状況を緑/赤で表現している



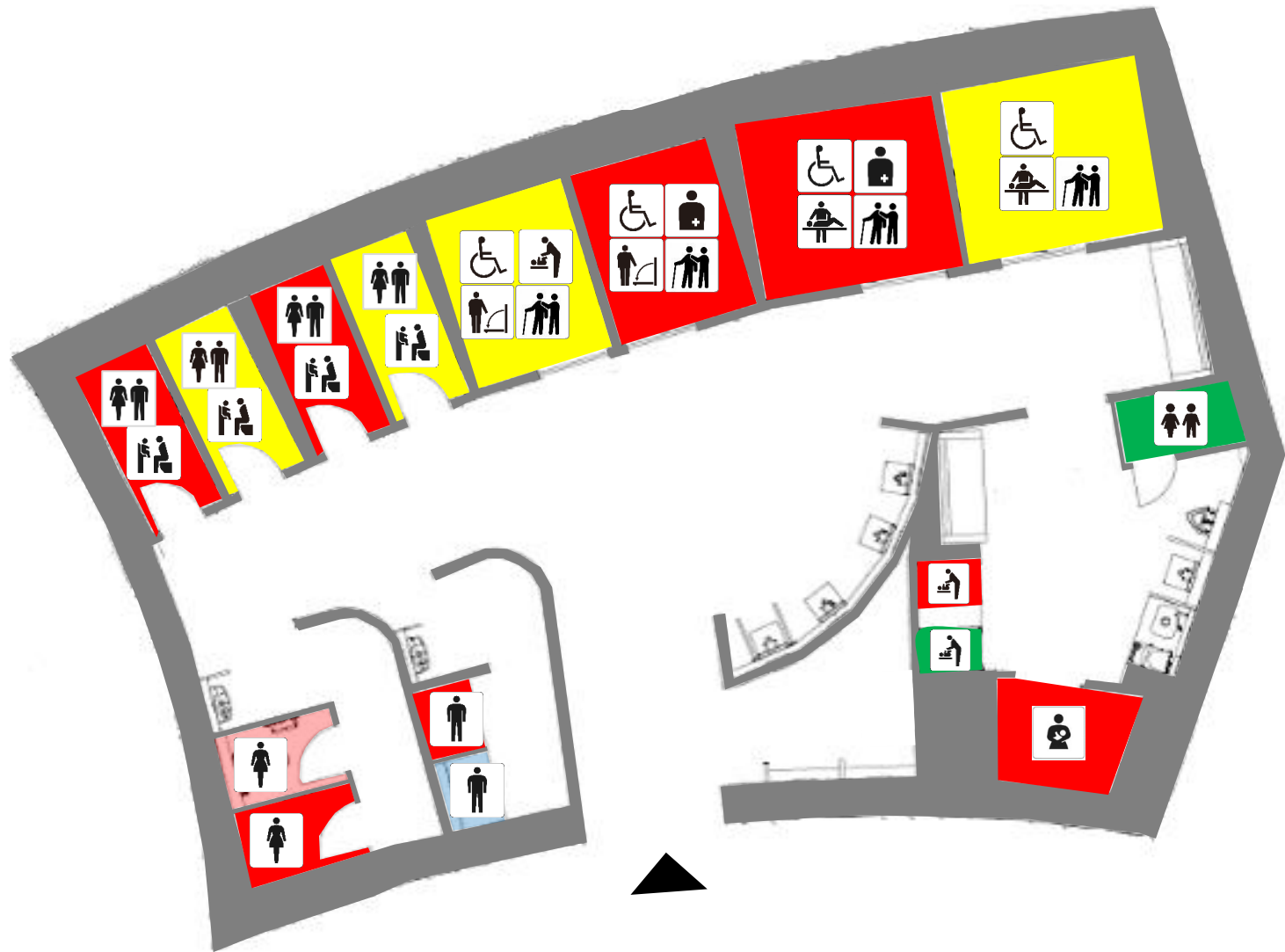
- ・ 各ブースの機能案内がメインにして、緑/赤で利用状況を示している

空きあり/なしの表示のみのもの



- ・ 空きあり/なしと空き個室の数 (○/5など) を示すシンプルな表示板
- ・ 近くのトイレ情報の表示

案内サインージ（兼 満空表示）のイメージ



● ディスカッション その2

利用者は、案内を見て、利用したいブースにたどり着けるか。。。

ディスカッション その1で考えた『案内』で利用者がたどり着けるか、利用者目線でいろいろな場合を検証してみましょう。

10分 15:25~15:35

< 休憩 >

5分×3 15:35~15:50

(3)各班からディスカッションの概要を発表

(4)実物大トイレ床レイアウト表示を用いて、
みんなで検証

各班のディスカッションの内容を踏まえ、
以下の2パターンで、
参加者のみなさんでそれぞれ役割（特性）を決めて、
トイレの利用のしやすさを確認してみる

- (1) フリーで（ある程度空きがある状態）
- (2) すべて使用中の場合

3. 「みんなトイレ（仮称）」の名称

トイレの愛称 (みなさんから寄せられた25案)

みなさんのご意見をもとに数案に絞り、3月末までに決定し公表予定

みんなのトイレ

ミライのみんなのトイレ

みんなに優しいトイレ

だれでもトイレ

誰でもトイレ

誰もが平等なトイレ

イクウォラティトイレ (英: equality/平等な)

エニワントイレ (英: anyone/誰でもトイレ)

以下上記の組み合わせの造語

イクエニトイレ

いくえにトイレ

エニイクトイレ

えにいくトイレ

オールジェンダートイレ

インクルーシブトイレ

ユニバーサルトイレ

バリアフリーストイレ

多機能トイレ

ボードレストイレ

ほっこりトイレ (英: heartwarming Toilet)

快適トイレ (英: comfortable Toilet)

1人用トイレ (英: Single-Occupancy Washrooms)

ファミリートイレ

Just aトイレ

(単に) トイレ

ミヤクトイレ (英: MYAKU Toilet)

1 ページ目

表紙

タイトル：大阪ヘルスケアパビリオン UD 推進チーム ワークショップ

サブタイトル：みんなトイレ（仮称）の使われ方検討

2 ページ目

議題

1. カームダウン・クールダウンルームの仕様（個別ワークショップの内容報告）
2. 「みんなトイレ（仮称）」の案内・誘導
 - (1) トイレのねらい、レイアウト、各ブースの機能の再確認
 - (2) 班ごとに「ピクトや配置図といった案内サインのこと」をディスカッション
 - ・機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか
 - ・利用したいトイレにスムーズにたどり着けるか など
 - (3) 各班からディスカッションの概要を発表
 - (4) 実物大トイレ床レイアウト表示を用いて、みんなで検証
3. 「みんなトイレ（仮称）」の名称

3 ページ目

会議室レイアウト

大阪府さきしま庁舎 44 階の大会議室

※車いすトイレは 41 階です。

※オストメイト設備は 1 階です。

会議室は、奥行約 22 メートル、幅約 12 メートルです。

会議室へは、廊下から前室を経て、会議室前方から入ります。

会議室前方には A 班から C 班までの各班のテーブルがあり、後方にはトイレ実物大のシートが敷いてあります。

4 ページ目

班分け

A 班は、ファシリテーターがエキスパートで、メンバーは車いす使用者 2 名、視覚障がい者 2 名、知的障がい者の親、医療的ケア児・親、LGBTQ+ で、リーダーは車いす使用者です。

B 班は、ファシリテーターは事務局で、メンバーは車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者、発達障がい者の親、知的障がい者・親、子育て支援、リーダーは車いす使用者です。

C 班は、ファシリテーターは事務局で、メンバーは車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者、精神障がい者、医療的ケア児・親、LGBTQ+ で、リーダーは車いす使用者です。

他に、作り手企業としてトートー株式会社、株式会社シブタニ、パビリオン関係者として、

公益社団法人大阪パビリオンのほか、東畑建築事務所、竹中工務店、展示を担当している乃村工藝社、運営担当のアヴィのみなさんがいらっしゃいます。

5 ページ目

タイトルページ：1. カームダウン・クールダウンの仕様

6 ページ目

カームダウン・クールダウン ワークショップの開催概要

日時：2023年11月30日（木）14：00 から

場所：東畑建築事務所 会議室

参加メンバー：エキスパート

当事者のみなさん 7名（1名はオンライン参加）

大阪パビリオン関係者（公社）大阪パビリオン、東畑建築事務所、博覧会協会

・ワークショップの様子

部屋の原寸大を床に描いて、扉位置や部屋の大きさを確認しました。

床・壁材やスイッチのサンプルを見ながら、設備の位置や仕上げの色などをみんなで検討しました。

7 ページ目

カームダウン・クールダウン 部屋の位置とサイズ

1階のカームダウン・クールダウンルームは、アトリウムからすぐのところに約8平方メートルの部屋があります。

2階のカームダウン・クールダウンルームは、2階アトリウム沿いの通路からすぐのところに、約5平方メートルの部屋があります。

8 ページ目

カームダウン・クールダウン 確認・検討事項

仕様の確認

- ・部屋の位置や大きさ
- ・扉の形状
- ・呼び出しボタン、照明の仕様、空調（壁かけタイプ）

仕様の選定

サンプルを並べ、内装などの色やスイッチなどの位置を選定しました

- ・内装材（床、壁、天井）の色
- ・扉の有無（2階のみ）、鍵、色
- ・照明スイッチ、呼び出しボタン、空調リモコンの位置

・家具、その他備品

家具の選定や利用方法などは、ワークショップの意見を踏まえて運営チームで検討していきます。

9 ページ目

カームダウン・クールダウン 決定した内容

決定した内容を、図面やサンプル写真で示しています。

床はみどり系のタイルカーペット敷で、かべ、天井はクリーム色系。かべの高さ2メートルまではやわらかい保護マットで仕上げます。

1階には一部にマットを敷くなど、横になれるスペースを設けます。

鍵は鎌状の鍵で、照明、空調、呼出ボタンのスイッチは高さ1.1メートルに設置します。

10 ページ目

タイトルページ：2. 「みんなトイレ（仮称）」の案内・誘導

11 ページ目

タイトルページ：（1）トイレのねらい、レイアウト、各ブースの機能の再確認

12 ページ目

みんなでトイレプラン作成チャレンジ（2023年1月30日の資料）

トイレのテーマ

誰もが使いやすい、ミライのトイレ

トイレのコンセプト

トイレの既存概念を変える、チャレンジングで心に響くトイレ

みんなが自然に使える、壁・境界やバリアのないトイレ

人の気持ちに寄り添った案内と設備を設けたストレスフリーなトイレ

13 ページ目

2022年8月のトイレワークショップのA班のプラン案です。

プランの概要

- ・介護、介助、性的少数者などのことを配慮したオールジェンダートイレ
- ・全部個室で小便器なし（視覚障がい者もどこに入ってもOKとなる）

14 ページ目

2022年8月のトイレワークショップのB班のプラン案です。

プラン概要

- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。手洗いとキッズ関係は中央に配置。
- ・小便器は効率化のため設置。女性や宗教的な問題でオールジェンダーに抵抗がある人もいる。

15 ページ目

2022年8月のトイレワークショップのC班のプラン案です。

プラン概要

- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。入口近くに男女共用、奥に男女別を配置。
- ・オールジェンダーはまだ抵抗がある人が多いので、男女別も残した方が。

16 ページ目

大阪ヘルスケアパビリオンのトイレの方向性（2023年1月30日の資料）

みんなで作成したプランから浮かび上がるコトは、

- 1.少数派も使いやすいように、ジェンダーフリーや機能分散の視点は欠かせない
- 2.多数派である健常者に対して、これまでの生活経験から、男女別トイレや男性小便器の確保が必要との意識を持っている人が多い
- 3.快適に利用するためには、要配慮者対応も含め多様なニーズがある

以上から、大阪ヘルスケアパビリオンのトイレの方向性は、

ノーマライゼーションを実現するトイレの提案、マジョリティ（多数派）とマイノリティ（少数派）の意識を無くす、です。

快適で使いやすい機能を盛り込みつつ、要配慮者はもちろん、健常者も含めすべての人が使いやすいトイレをめざします。

17 ページ目

トイレプラン（2023年1月30日の資料）

誰もが分け隔てなく使えて、使いやすい「みんなトイレ」とし、どうしても男女別トイレでないと抵抗が大きい人のための男女各専用スペースや、多様なニーズに対応するためのファミリーコーナーやスタイリングコーナーなどを追加しています。

従来の男女別トイレもあえて設けることで、トイレに対する『意識変革』のきっかけとなる、トイレの既成概念を変えるミライ社会の実験場をめざします。

18 ページ目

機能分散されたブースの配置

最新のトイレの図面を示しています。図面は出入口が下側です。

トイレに入って正面奥にAからHの男女共用のブースが並んでいます。AからDが通常よりやや奥行きのあるブースで、それぞれにベビーチェアが付いています。

Eは一部の車いすのかたが使用できる大きさのブースで、フィッティングボードとおむつ替えベッドがあります。

FはEと同じ大きさのブースで、オストメイト設備とフィッティングボードがあります。

GとHは大型の車いすでもは入れる大きさのブースで、それぞれに介助用ベッドがあり、Gにはオストメイト設備があります。

トイレ図面の左下は女性専用トイレが2ブース、その入り口側に男性専用トイレ（小便器）が2基あります。

トイレ図面の右下にはファミリーコーナーとして、授乳室やおむつ替えベッド、キッズトイレがあります。

トイレに入ってすぐ右側にはスタイリングコーナー、トイレ中央右手には洗面コーナーがあります。

19 ページ目

各ブース内の設備・機能

各ブースの機能を一覧表で示しています。

20 ページ目

想定される利用者のニーズとブースの関係

利用者の特性（ニーズ）と各ブースの機能を表にしています。

21 ページ目

今回のワークショップの検討ポイント

1. 機能分散しているトイレにスムーズにたどり着けるか
2. 意識を変えることができるか

について、どんな案内があればうまくいくかみんなで考えましょう

22 ページ目

トイレの配置

大阪ヘルスケアパビリオンには、今回検討する本館1階のほか、2階に3ブース、敷地内バックヤード棟にも複数のトイレがあります。また、西隣の敷地には万博のサービス施設として、トイレが設置されています。

23 ページ目

トイレ利用者の動線

大阪ヘルスケアパビリオンの1階アトリウム周りの図面に、利用者動線を示しています。

24 ページ目

タイトルページ： (2)班ごとに「ピクトや配置図といった案内サインのこと」をディスカッション

機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか
利用したいトイレにスムーズにたどり着けるか など

25 ページ目

どんな案内があるとよい？

ディスカッション その1

どこにどんな機能のトイレがあるか。どこが使用中で、どこが空いているのか。

どのような案内誘導の機能があれば利用しやすいでしょうか。

26 ページ目

案内・誘導手法の例

自宅やパビリオン外における案内・誘導手法の例。

ホームページ。トイレのプラン、趣旨、取組み経過その他を事前にお知らせする。

トイレに入る前における案内・誘導手法の例。

案内サイネージ。各ブースの機能と満空状況を併せて行うことができるもの。

触知図、音声誘導。視覚障害者の方のご案内。

足跡マークなどの床サイン。待ち列を示すもの。

トイレの中における案内・誘導手法の例

ピクトサイン。博覧会協会が「サイン整備指針」で示すものとし、万博会場内の案内との統一を図る。

使用中表示。トイレに入ってから、スムーズに空きブースを見つけられる。

矢印などの床サイン。トイレ内の誘導。

27 ページ目

案内・誘導手法の例

ピクトサインを一覧で示しています。すべて JIS 規格のものです。

28 ページ

案内・誘導手法の例

内観パースです。扉の脇に、空きか使用中かを示すランプのイメージを入れています。

29 ページ目

案内・誘導手法の例

案内サイネージの事例。

ブースごとの機能と満空表示が一緒に表示されているものと、シンプルに空きがあるかどうかを表示しているものを紹介しています。

30 ページ目

案内サイネージ（兼 満空表示）のイメージ。

大阪ヘルスケアパビリオンのトイレの案内サイネージのイメージを示しています。

各ブースの機能をピクトサインで示し、使用中はブース全体が赤色、空いているところは別の色になっています。

31 ページ目

利用したいブースにたどり着ける？

利用者は、案内を見て、利用したいブースにたどり着けるか。

ディスカッション その1で考えた『案内』で利用者がたどり着けるか、利用者目線でいろいろな場合を検証してみましょう。

32 ページ目

タイトルページ：休憩

33 ページ

タイトルページ： (3)各班からディスカッションの概要を発表

34 ページ目

タイトルページ： (4)実物大トイレ床レイアウト表示を用いて、みんなで検証

35 ページ目

みんなで実物検証をしてみましょう

各班のディスカッションの内容を踏まえ、以下の2パターンで、参加者のみなさんでそれぞれ役割（特性）を決めて、トイレの利用のしやすさを確認してみる

- (1) フリーで（ある程度空きがある状態）
- (2) すべて使用中の場合

36 ページ目

タイトルページ： 3. 「みんなトイレ（仮称）」の名称

37 ページ目

トイレの愛称

本日、みなさんのご意見で数案に絞ります。3月25日の総会で「愛称」を公表予定。

以下、みなさんから寄せられた案

みんなのトイレ

ミライのみんなのトイレ

みんなに優しいトイレ

だれでもトイレ・誰でもトイレ

誰もが平等なトイレ

ほっこりトイレ「heart warming」

快適トイレ（カムファンタブル（comfortable）トイレ）

ユニバーサルトイレ

バリアフリーストイル

インクルーシブトイレ

オールジェンダートイレ

ボーダレストイレ

1人用トイレ（Single-Occupancy Washrooms）

多機能トイレ

ジャスト ア トイレ

（単に）トイレ

イクウォラティトイレ（equality/平等な）

エニワントイレ（anyone/誰でもトイレ）

ファミリートイレ（人類皆家族 と言う意味を込めて）

イクエニトイレ いくえにトイレ

・イクウォラティ（平等）＋エニワン（誰でも）

・「幾重に」とも書け、色んな要素が入っていると言う意味も込めている

エニイクトイレ えにいくトイレ

・エニワン＋イクウォラティ 誰もが平等なトイレ

トレードセンター駅から咲洲庁舎までの点字ブロックの道案内をお知らせします。
点字ブロックは、ほぼ敷設されていますので、点字ブロックに沿って説明します。
所要時間はあくまで目安ですが、身長158センチメートルの倉田が少しゆっくり歩いて約10分です。

ニュートラムのトレードセンター前駅で住之江公園駅方面に向かって1番前で降り、
左9時の方向に点字ブロックに沿って進むとエレベーターがあります。
エレベーターまでの途中、右3時の方向と左9時の方向に1回ずつ曲がります。
エレベーターの呼出ボタンはエレベーターに向かって右側にあります。
エレベーターに乗ると、自動的に扉が閉まり、改札階まで上がります。
改札階でエレベーターを降り、正面12時の方向に点字ブロックに沿って少し前に進むと、左9時の方向と右3時の方向に分岐がありますので、右3時の方向の点字ブロックに沿って進みます。
すぐに警告ブロックがありますが、そのまま正面12時の方向に進み、次の警告ブロックで左9時の方向に曲がり、そのまま正面12時の方向に進むと改札があります。
改札を出て左9時の方向に点字ブロックに沿って進み、右3時の方向に曲がります。少し進むと正面12時の方向と左9時の方向に分岐がありますので、左9時の方向の点字ブロックに沿って進みます。
点字ブロックに沿って少し進むと、約25メートルのスロープがありますので、スロープをくだります。スロープの途中には2か所フラットな部分があります。
スロープをくだり、左10時の方向に点字ブロックに沿って進むと自動ドアがあります。
自動ドアを通過し、左9時の方向に点字ブロックに沿って進むとエレベーターがありますので、エレベーターで3階から2階に下ります。
エレベーターの呼出ボタンはエレベーターに向かって右側にあります。
エレベーターに乗ると扉に向かって右側に階数ボタンがあります。ボタンの下から3つ目が2階のボタンです。
2階に下りて左9時の方向に点字ブロックに沿って進みます。約5メートル進むと左10時の方向に点字ブロックが曲がっていますが、点字ブロックに沿って進んでください。
そこから約50メートル進行方向の点字ブロックが続きます。
途中、少しカーブしていますが、点字ブロックに沿ってそのまま進んでください。
進んだ先に正面12時の方向と右3時の方向と左9時の方向に分岐がありますので、左9時の方向に点字ブロックに沿って進みます。
進むとすぐに自動ドアを2か所通過します。ここからは外部空間になります。屋根はあります。
正面12時の方向に約15メートル進むと、再び自動ドアを2か所通過します。ここから建物の中になります。そのまま正面12時の方向に点字ブロックに沿って進みます。
自動ドアから約60メートル進行方向の点字ブロックが続きます。途中、左10時の方向や右2時の方向に向きが変わりますが、進行方向の点字ブロックが続きますので、そのまま進んでください。

※レストラン街を通過しますので、音楽が聞こえたり、食べ物の臭いがします。

進行方向の点字ブロックを約60メートル進むと警告ブロックがありますので、左9時の方向に曲がります。少し進むと自動ドアが2か所あるので通過します。ここからATCと咲洲庁舎をつながる屋根付きの連絡通路になります。その後、左9時の方向に点字ブロックに沿って進みます。

次の警告ブロックで、右3時の方向に点字ブロックに沿って進みます。

そこから正面12時の方向に約60メートル進みます。途中で左9時の方向に1か所、右3時の方向に1か所の分岐がありますが、進行方向の点字ブロックに沿って進みます。進むと自動ドアを1か所通過します。ここからが咲洲庁舎です。

自動ドアを通過し、正面12時の方向に進行方向の点字ブロックに沿って進むと、左9時の方向と右3時の方向に分岐がありますので、右3時の方向の点字ブロックに沿って進みます。

そこから約20メートル進行方向の点字ブロックに沿って進みます。途中、1か所警告ブロックがありますが、正面12時の方向にそのまま進みます。

約20メートル進むと警告ブロックがありますので、左9時の方向に点字ブロックに沿って進みます。そこから約25メートル進行方向の点字ブロックに沿って進み、警告ブロックがありますので右3時の方向に曲がり、少し進んで左9時の方向に曲がって、そのまま進行方向の点字ブロックに沿って進みます。

進むと自動ドアが2か所あるので通過します。

約5メートル進むと正面12時の方向と左9時の方向に分岐があるので左9時の方向に進むとエレベーターがあります。

51階まで上がるエレベーターに乗り、44階まで上がりますと、ワークショップの会場の会議室があります。

わかりにくい説明で大変申し訳ありません。

何かありましたらご連絡いただければと思います。

それから、咲洲庁舎のエレベーターは数が多く、行先階によって乗るエレベーターが違いますので、2階エレベーターホールまでお迎えに行く方がよろしいでしょうか？